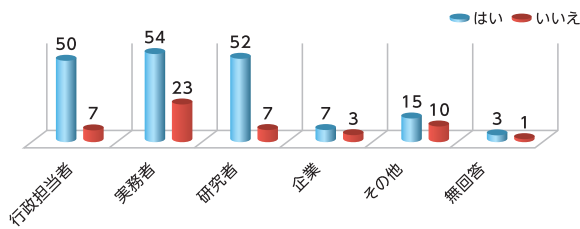


会誌、図書、ウェブサイト等によるがん登録に関する情報の提供事業

JACR Newsletterを読んだことがありますか？

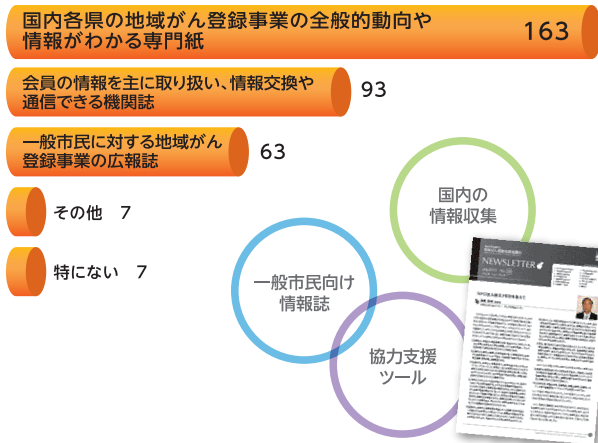
回答者の80%弱がJACR Newsletterを読んだことがあると回答しています。Webサイト上に公表していることなどから、協議会への加入・非加入、会員の登録・非登録にかかわらず既読度が高く、JACR Newsletterは情報配信に有効な媒体であることがわかりました。



要望

JACR Newsletterの持つ機能として、期待することは何ですか？(複数回答可)

回答者属性にかかわらず、国内各県の地域がん登録事業の動向や情報を収集する媒体としてJACR Newsletterを望んでいる声が多かったです。また、一般市民向け地域がん登録情報誌のほか、届出協力を仰ぐ医療機関に対する協力支援体制が取れるような機関紙を希望する声もありました。事業に直接かかわる関係者向け情報と、広く一般への地域がん登録関連情報を整理し、どのような情報を発信できるか、今後検討していきたいと思ひます。

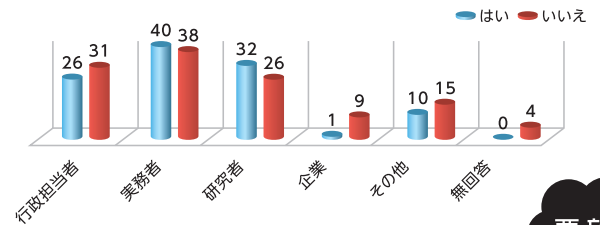


がん登録に関する人材育成事業

人材育成としての表彰制度について

地域がん登録全国協議会の「表彰制度」をご存知ですか？

知っていると回答したのは、全体の47%でした。行政担当者や未加入県の認知度の低さは、人事異動や加入県対象の制度であることなどから推測がつかますが、実務者の半数近い方が表彰制度をご存じないことが明らかになりました。



要望

協議会ではこれまで、研修会による地域がん登録実務者の育成や表彰制度などの人材育成事業を実施してきましたが、今後どのような人材育成事業が実施されるといいとお考えですか？(複数回答可)

実務者をはじめ行政担当者からも、レベル別・エリア別実務講習会の要望の声が聞かれました。また、行政担当者にかかわらず、実務者および研究者からの地域がん登録データを活用した政策立案セミナーの要望があることがわかりました。少数意見として、他分野との交流や、実施事業間の情報交換を推進する事業、また、他県のがん登録実務者を一定期間受け入れるような研修制度づくりを要望する声がありました。地域がん登録全国協議会として取り組むべき人材育成について、地域がん登録事業に貢献できるよう具体的な検討が必要であることが明らかになりました。

